

学校支援ボランティアバンク
への登録のご案内

学校の教育活動の充実に向け、地域の皆さんが持つ様々な教育力を生かし、児童・生徒の多様な学習活動等に「指導・協力していただける」「学校支援ボランティア」を募集しています。
(例えば、「英会話」「読み聞かせ」「書道」「茶道」「華道」「スポーツ指導」「図書整理」「草刈り」「窓ガラス清掃」などの指導・支援)

登録資格
市内に在住・在勤・在学中、原則として18歳以上の学校支援ボランティアとして活動する意欲のある個人及び団体

登録後の活動
ボランティアバンクリストに記載され、各学校からの依頼により、講師やボランティアとして支援活動をしていただきます。支援活動の謝礼は原則無料となります。

登録方法
所定の登録申込書(生涯学習課窓口にあります)を生涯学習課へ提出してください。
なお、詳しい内容につきましては、下野市のホームページをご覧ください。

申し込み・問い合わせ先
生涯学習課(石橋庁舎2階)
☎(52) 1119
☎(52) 2624

下都賀地区「家庭の日」
シンポジウムののご案内

心豊かでたくましい青少年を育む地域社会の最小単位としての「家庭」の役割を見直し、ふれあい育む「家庭の日」を地域全体に定着させることにより、活力と美しさに満ちた地域社会を築いていくことを目指します。

日時
8月11日(金)
午後1時～
会場
栃木市文化会館小ホール
内容
〈基調講演〉
・演題
ふれあい育む「家庭の日」について
・講師
栃木県生活環境部女性青年課長 直井高子氏
〈パネルディスカッション〉
・テーマ
ふれあい育む「家庭」と「地域活動」
・コーディネーター
栃木東中学校PTA会長 琴寄昌男氏
・パネラー
青少年育成アドバイザー 伊藤敬子氏
壬生町老人クラブ連合会長 神永昭次氏
あしたばとちぎ代表

野原佑介氏
間々田蛇祭り実行委員会会長 平井昇氏
岩舟町子ねっとメンバー 上恭子氏
栃木県レクレーション協会 理事長 檜山達夫氏
対象
参加を希望する方はどなたでも参加できます。
参加費 無料
問い合わせ先
下都賀地区青少年育成推進連絡協議会(栃木県南健康福祉センター内)
〒323 0811 小山市大塚3の1の1
☎(21) 2294
☎(22) 8403

「家庭の日」の誕生
「家庭の日」運動は、昭和30年に鹿兒島県の鶴田町で生まれました。公民館の研修会で、親と子の絆の大切さ、それを強くするための「家庭」の大切さの見直しがあり、それに加えて農業従事者の「農休日」を設けては、「という町の考え方が重なり、「家庭の日」が産声をあげました。
栃木県の状態
昭和41年8月、栃木県青少年問題協議会において、毎月第3日曜日を「家庭の日」と決議し、さまざまな運動を展開することになりました。

みんなの力で青少年健全育成を!!

下野市に青少年育成市民会議を設立しよう! 設立準備会委員を募集します。

対象
地域で青少年の育成活動を行っている、または行おうとしている市民

活動内容
下野市青少年育成市民会議設立のための諸計画の立案、事業の調査、研究等を行うための会議を、月に1・2回程度開催します。

募集人員 10名程度
選考結果 文書で本人に通知

応募方法
住所、氏名、生年月日、電話番号、各種団体に所属している場合は所属団体名を記入の上、生涯学習課まで提出してください。(様式は任意)

締め切り 8月31日(木)

問い合わせ・提出先
下野市生涯学習課
☎(52) 1119 ☎(52) 2624
メール: syougaigakusyu@city.shimotsuke.lg.jp

大人が変われば、子どもも変わる。
非行や犯罪、いじめの多発。
子どもをめぐる問題が深刻になっています。「子どもは、社会を映す鏡」。そんな考えにたってみると、私たち大人が、まず、しなければならぬことがあります。それは親や大人が姿勢を正し、子どもの手本となるとともに社会全体のモラルの向上や地域の教育力を高めしていくことではないでしょうか。さあ、一緒に、身近なところから、出来ることからはじめましょう。
青少年育成国民会議ホームページより